

防災

9月1日は**防災の日**です!

防災

新たな**防災気象情報**の運用が始まりました

令和8年から、気象庁が発表する警報・注意報の伝え方が見直され、種類や名称が大きく変更されています。

防災気象情報	避難情報
気象庁が発表します。住民が自主的に避難行動をとるための参考となり、市町村による避難情報発令の判断にも使用されます。	災害が発生する前に市町村が発令する高齢者等避難・避難指示などの情報です。 大阪市では、警戒レベルを取り入れた避難情報を防災行政無線、テレビやラジオ、インターネット等さまざまなツールで発信しています。大阪防災アプリで情報を収集するなど、入手する手段を事前に確認し、警戒レベルに応じた確かな避難行動をとりましょう。

防災気象情報

気象庁が発表する警報・注意報

気象台	大雨	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 大雨特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!		
警戒レベル4相当	レベル4 大雨危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 大雨警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 大雨注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報	

【とるべき行動】
命の危険
直ちに安全確保!

危険な場所から
全員避難

避難に時間を要する方は
早めに避難を

避難場所や避難ルート、
避難のタイミングを確認

災害の心構えを高める

避難情報

大阪市が発表する
避難情報等

避難情報等	
5	緊急安全確保
4	避難指示
3	高齢者等避難

「警戒レベル相当」情報が気象庁から発表されたとしても、必ずしも同じタイミングで大阪市から同じレベルの避難情報が発表されるとは限りません。避難行動をとる際には大阪市からの避難情報にご注意ください。
また、避難先は公的な避難場所に限りません。近くの親族や知人宅への避難について日頃から相談しておいてください。風雨の激しいときの避難は危険です。安全が確保されている場合は自宅で待機することも避難方法のひとつです。

いつ起こるかわからない災害に備えましょう

●日頃から平野区防災マップや水害ハザードマップを確認しておきましょう。

平野区防災マップ

水害ハザードマップ

河川の水位

●河川の水位も確認しておきましょう。

平野区ホームページからも確認できます。

●家の安全対策

台風や大雨が予想される時は自宅周辺の側溝や会所の清掃、備蓄の確保など備えをしておきましょう。詳しくは、「台風、強風、大雨、高潮への備え(危機管理室ホームページ)」(右記の二次元コード)をご覧ください。

日頃からの**備え**について

防災・減災において最も大切なことは、災害が起きてからではなく、普段から備えておくことで、被害を最小限に抑える鍵となります。例えば、避難場所や避難経路を家族と確認しあったり、携帯トイレ、非常食や飲料水、懐中電灯、救急用品などを備蓄しておくことが重要です。また地域で行っている防災訓練に参加することで、災害時に落ち着いて行動する力を身に付けることができます。さらに、地域住民同士で日頃から交流を深めておけば、災害時の助け合いにもつながります。災害は誰にでも起こり得る身近な問題であり「自分は大丈夫」と考えず、一人ひとりが防災意識を高めて日頃から備えることが、自分や家族の命、地域を守ることにつながります。

大雨への備えのお願い

＝なにわ大放水路のポンプ停止に伴って＝

強い雨が予想される場合

- テレビやホームページなどで、気象情報や防災情報をこまめに確認してください。
- 貴重品などを浸水する恐れのない場所に移動しましょう。

雨が強くなってきたら

- 地下室等の低い場所には近づかないでください。
- 不要不急の外出は控えましょう。
- 多くの水が下水道へ流れ込まないようにご協力をお願いします。
(土のうの貸し出しについての問合せは、平野管路管理センター ☎06-6705-0342)

なにわ大放水路の貯留量

大阪防災アプリについて

災害時に備えて、情報受信手段を知っておきましょう!

もしもの為に、今始めよう/ 大阪防災アプリ

いざという時のための
国民保護法上の
緊急一時避難施設を掲載

いろいろな人が使いやすい
やさしい日本語対応
他にも英語・中国語(簡体字・繁体字)・
韓国語を選べるようになりました。

日ごろから使える
気象情報・雨雲レーダー
降水予測や台風進路も
閲覧可能になりました。

わかりやすく伝えます
防災シグナル
警報等が発令されると
色の変化でお知らせします。

身を守る防災情報

大阪防災アプリダウンロードはこちら

情報受信手段を知っておきましょう